

	所 属	現代社会学部 現代社会学科
	専 攻	こども専攻
	主な担当科目	基礎技能(造形表現Ⅰ・Ⅱ)、こどもの造形Ⅰ・Ⅱ、遊びと造形、保育内容(表現Ⅱ)
	氏 名	海沼 恭史
	フリガナ	カイヌマ ヤスシ
	職 位	准教授
	学 位 等	修士(教育学)

研究内容・社会業績等

【研究内容】

- ・造形表現活動における幼児の主体性
- ・幼児教育・保育における造形表現の意義
- ・保育者が子どもの作品を読み取るための視点、視座の検討

【社会業績】

- ・幼少年教育研究所造形部会 実技講師,(2012年～)
- ・幼児造形教育研究会 第46回 夏の研修大会「鼎談:どの子どもその子の主体性で育てて生きる基盤をどう作る?—ある障害児の父からの発言をきっかけにして—」鼎談担当,2020年
- ・幼児造形教育研究会 第49回 夏の研修大会 実技講師,2023年
- ・幼児造形教育研究会 さんもつくの会 実技講師,(2023年～)
- ・立正大学社会福祉学部こども教育福祉学科 領域「表現・造形」ゲスト講師,2023年,2024年
- ・第8回保育・理論と実践研究会「幼児期の造形遊び」講師,2025年
- ・早稲田大学教育学部初等教育学専攻「初等教育学演習Ⅰ・ⅡE」ゲスト講師,2023年,2025年

【所属学会】

幼少年教育研究所 幼児造形教育研究会 美術科教育学会 造形教育センター

【審査員】

- ・第43回全国児童画コンクール 審査員
- ・第44回全国児童画コンクール 審査員

論文・書籍・資格等

【資格】

- ・幼稚園教諭一種免許状
- ・保育士資格
- ・発達支援サポーター

【著書・執筆】

- ・子どものこころがみえてくる 保育実践事典(共著), すずき出版,2016年
- ・「感じる」ことからはじまる子どもの造形表現 理論と実践事例から学び、考えよう(共著), 教育情報出版,2022年
- ・毎日の授業研究・保育研究 幼児造形・図工・美術編(共著), 建帛社,2023年
- ・乳・幼児はすごい!「10のこと」連載③, 教育美術12月号,2021年
- ・「主体的な保育をする為に」～年長児の遊びから考える～, 教育美術6月号,2022年
- ・ドキュメンテーションを取り入れた保育,教育美術6月号,2024年

【学会発表】

- ・幼児期の主体的な造形表現活動についての一考察-中動態の視点から考える-, 第46回美術科教育学会弘前大会(弘前大学),2024年
- ・幼児の造形表現活動における主体性の考察-実践事例からの検討-, 第47回美術科教育学会 岡山大会(岡山大学)乳・幼児部会,2025年

【論文】

- ・幼児期の主体的な造形表現活動についての一考察-中動態の視点から考える-(修士論文), 早稲田大学教育学研究科学校教育専攻,2025年

学生へのメッセージ

私は、幼児教育・保育現場で22年、子ども達と生活をしてきました。乳児、幼児は、大人では思いつかないこと、びっくりすること、考えさせられることに気づかせてくれます。そこには、大人が教えるということだけではなく、子ども達とともに学び合うという教育・保育観が大切になってきます。幼児教育・保育のすばらしさ、楽しさを造形の視点から一緒に考えていきましょう。絵を描くことが苦手で問題ありません。大切なのは、絵を描くことで子ども達はどのような育ちをしているのかを考えることです。興味のある方は、ぜひ参加してください!!